

全力！ 地区対抗リレー



今年の体育大会もクライマックスに差し掛かったころ、地区対抗リレーが行われました。5つの地区それぞれの各学年の代表が、活動タイムもたくさん練習して、代表の名に恥じないような競技を心がけ、頑張ってきました。競争するときも大事だけど、入場や退場も代表の名に恥じない演技をしてくれました。

バトンパスや足の速さも大事ですが、いくらいい勝負をしたって、入場や退場がダラダラしていたら人は感動してくれないので、入場の練習の時のように、足をしっかりと上げ、胸を張って前を向きながら入場や退場をしていました。

代表として一番大事なものは、代表としての責任だと僕は思います。今回のみんなの思いは勝ちたいという思いもあったけど、何より自分たちが代表として出ていて、ほかの出れなかった人の分も頑張るという思いです。その思いがあったからこそ、こんなに素晴らしいデッドヒートを繰り広げてくれたのだと思います。順位が高いこともいい



けど負けたチームの人でも代表の名に恥じない、最後まであきらめることのない走りができました。

それまでの練習の成果が、本番のアクシデントでうまくいかなくて努力が報われなくても、最後まで精一杯競技をしようとしているリレー選手に心を打たれました。努力すれば必ずうまくいくことをこれからの糧として6年生は中学校へ、ほかの学年の人は頑張してほしいです。

